

新年の信念

株式会社 榎戸材木店
会長 榎戸 正人

昨年の12月月報には終活の話題などを書いて反省しているので、今年初めの月報は明るい話題を……と思うのですが、これからアメリカ経済が減速に向かい、日本も巻き込まれるだろうと思うと、なかなか明るい話題も思い浮かびません。

しかし世の中はともかく、個人的な話であれば新しく何かを始めるなど、明るい年にすることは可能です。今年から新型NISAが始まるので、これを機会に「貯蓄から投資へ」とチャレンジしてみるのも良いかもしれません。但し、若ければ積立NISAは有効ですが、還暦を過ぎてから積み立てを始めても遅い……最低でも30年間は積み立てなくてはメリットがないと思いますので、私も100歳まで生きることを目指して積み立てを始めなくてはなりません。それも生き甲斐かも知れませんが、チョッと無理がある……

というわけで、新たな生き甲斐をと、今年から「本格的」に「本(を)書く」ことにしました。少なくとも年内に3冊は出版する計画を練っています。問題は予算で、国のように足らなければ補正予算を組んで、赤字国債を発行して賄うと言うわけにはいきませんから、執筆の計画と同時に「財源確保」も考えなくては。

政府もこのくらい計画的に物事を進めてくれれば内閣支持率も上がるでしょうし、借金漬けの国の財政も立て直せると思うのですが、議員の皆さん、そんな先のことを考えていたら当選できない、目先の甘い言葉で票を集めるしかないと考えているのでしょう。自分が引退した後、死んだ後のことなど知らないと言うのでは、少子化対策、子供をもっと生みましようと言っても、国民は白けてしまいます。

話がそれましたが、アマゾンの電子出版だけなら、本を1冊出すのに掛かる費用は20万円ほどで済みます。印刷物としても出したいとなると、2倍の40万円掛かります。さらに全国の書店で販売するとなると、200万円以上は覚悟しなくてはなりません。でも一般的な出版社に頼むと300万円以上は取られ、売れ残った分は引き取らなくてはならないので、まだ安い方です。

というわけで、今年出版予定の3冊のうち、2冊は電子出版のみで40万円ほど。1冊は無謀にも全国の書店でも販売してもらおう計画なので、合計250万円程度の予算組をしなくてはなりません。まあ、年寄りの趣味としては、その程度は仕方ないのかも知れませんが。

などと書きながら、実は昨年末に既に1冊はアマゾンから出版しました。年末年始に一杯飲みながら読んでもらおうと薄い本ですが中身は濃いつもり。最近、街角から本屋さんが減りましたが、本を出版して販売するのは大変です。家族は別に売れなくても趣味なんだからいいじゃない、ハハハ！と気楽に言っていますが……せめて出版費用くらいは印税で稼ぎたいなあ。